

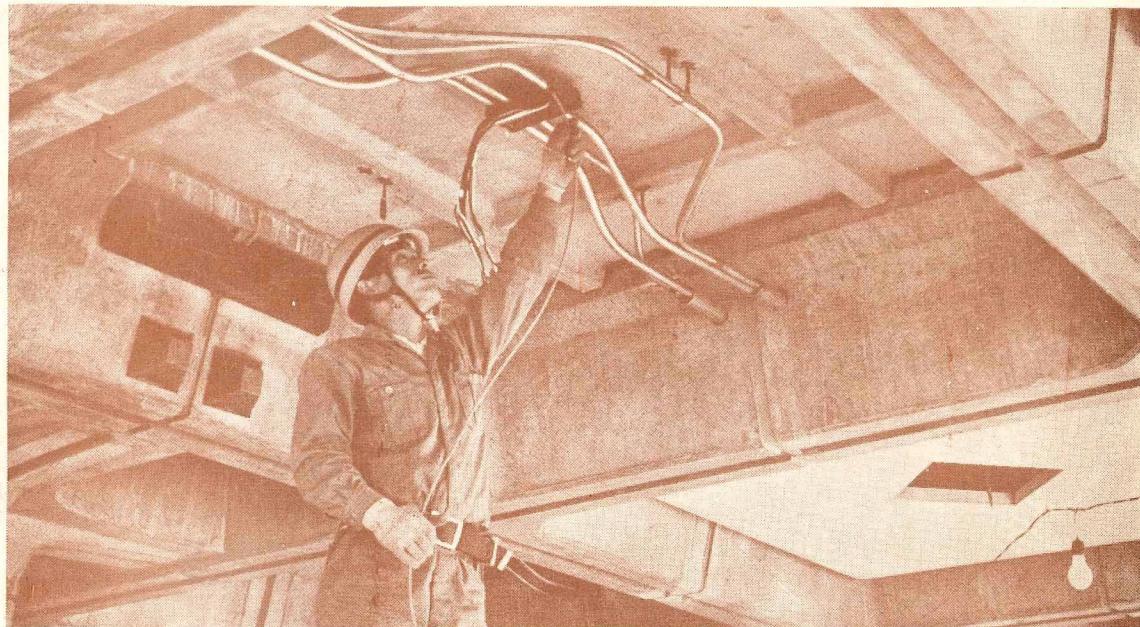
いなづま

発行所 函館地方電気工事協同組合

住 所 函館市新川町99番地

編集人 荒井孝一

印刷所 有限会社 豊国堂印刷



「組合だより」

◎年度第1回通常総会について

去る5月27日午前11時30分より湯の川「はなびし」において委任状を含くめ99人の出席のもとに通常総会を開催しました。

議案 昭和42年度決算の報告

昭和43年度の予算案

以上を審議の上原案通り決定され次いで、役員の改選を行い下記の通り選出されました。

理事長 小寺寛一(市部)

専務理事 梶原邦夫

理事 猪股貫一

全 佐藤輝夫

全 竹内八郎

全 工藤義一

全 沢谷長太郎

全 伊東次郎

全 松崎義雄(地方部)

全 運藤武士

全 谷 義一

全 岡田辰之助

監事 荒井孝一

全 平沼智子

提案事項として

(1) 絶縁耐圧試験装置設備の件 (理事長提案)

活線防具の試験装置として設備費を含くめ約30万円内外である。細部については役員会に一任と決定されました。

(2) 加入金の出資金振替について

「預り加入金の仮受金として処理しているもの出資金に振替えることとしたい、細部は関係機関とも協議の上、役員会で審議することと致し度い」と理事長より提案し承認されました。続いて午後6時30分より北電支店長以下を交え懇親会に入り午後8時盛会裡に終了致しました。

一、第2回役員会の主な事項について

去る6月10日午後開催の役員会で審議決定された事項のうち主な事項は次の通りです。

(1) 耐圧試験装置について

5月の通常総会で、設置を議決せられ細部は役員会に一任されましたので、慎重に審議の結果、委員を挙げて準備することとし、委員長に泰平電気商会伊東次郎氏を指名し、機械装置の再見積り及び建物の見積りについても詳しく検討することとなりました。

(2) 融資制度について

工藤理事提案事項として「組合定款にもある通り組合員に対する融資制度について実現するよう取り計らわたい」旨理由を附して詳細な説明が行なわれ、之について制度として実現の可否、及び他業界の状況、実施するとせば、如何なる方法手順によるか等種々審議を重ねましたが、慎重を期する問題なので委員を挙げて検討することとし、委員長に(北)弘電社猪股貫一氏を指名し、

(イ) 本制度実施の可否

(ア) 実施するとせば如何なる手順方法によるを最良とするか等

以上について詳細検討を加えることとなりました。

尚次回役員会検討事項として

(イ) 代議員制度について

(ア) 標準料金のP.R.の方法について工藤義一氏より提案説明がありました。

二、本年度中高校卒者の求人申込について

過ぐる回状で求人の細部について皆さんに通知致しましたが、7月5日現在の申込は僅少であり、地元職安でも内地求人側との関連あり大変に困却しています

7月25日頃を以って申込を〆切る予定となっています故、希望の向きは取り急ぎ採用計画書を事務局に提出して下さい。総合訓練所の求人についても同様です。三、(1)去る5月27日午後6時より総会終了後の会場はなびしにおいて次の各位が北電支店長より表彰を受けました。

優良事業所(略称)

第一電気、梶原電気、石垣電気、佐々木



電気商会、下山電気、平松電気、泰平電気、拓北電業、中部電気、日光電気、日興電気、丸石電気、安保電気、水口電気、吉田電気(上磯)、桧山電気、光南電気、大久保電気(22事業所)。

外線関係

旭電気、大倉電気、樺電工業(3事業所)

(2) 当組合は今般北海道雑音防止活動に従事した功績により団体表彰を受けました。

(3) 電波協力会長の個人表彰として大倉電気大倉伸夫氏は雑音防止及びTVアンテナ建設及び有線放送建設並びにTVへの塩害防止につくした功績で6月1日電波の日をトシ表彰を受けました。

四、訓練所関係事項

① 服装頭髪禁煙について

訓練生にして著しく頭髪を伸ばし又訓練生らしくない華美で野卑な服装をなし、顧客等に対して好ましい印象を与えるとは思われない者に対しては、厳重に注意を与え、襟を正さしめるよう指導することになりましたので、訓練生は勿論一般雇用者に対しても同様にご指導をお願い致します。



未成年者の禁煙は勿論教場に於いての喫煙は禁止することと致しました。

② 新入所生の入所定員の余裕がありますので至急希望事業所はお申込み下さい。

五、高圧技術者試験について

本年度も10月に実施の予定で願書〆切

は8月12日より8月31日まで、希望者は事務局へ連絡下さい。

六、全国五輪大会出場結果について

去る5月18日東京において開催の全国大会に組合代表として北斗電気奈良悦郎君が出場し敢闘しましたが、遺憾ながら入賞を逃しました。入賞者との優劣の差は僅少であり、今後の訓練次第では、入賞の域に達することは、さして困難でないとの引率の任に当たった北斗K.K.熊谷浩四郎氏の説明でした。出場選手奈良君の労を多とし、今後の奮闘を期待するは勿論、同君以上の腕の技術者が誕生することを祈ってやみません。

七、災害速報について

北電より速報が参りますれば適宜速報の処置を致しますが、組合掲示板にも速報していますので念のため。

八、標準料金の順守について

去5月に小寺理事長が地方組合員と巡回懇談した際、各地区で概ね共通して要望が出された事項として、函館市内業者及び大工が「著しく標準料金を割って設計工事を行なって困る」とのことありました。之は地方に行って工事をしたものの全部がそうだとと思いませんが、正常な経営のもとには正常な単価の工事がなされる筈であります故、相共々之が順守についてご協力願います。以上取り敢えずお知らせと致します。

毎日多忙な日が続いているが愈々真夏の到来と共に気も緩みがちとなります故「安全作業」については、一層のご留意を願います。

ご健闘を祈ります。

(横田)

【組合員の横顔】

巴電気工業所 田仲時次郎



道南の電気工事関係者の経験を尋ねると、三井の従業員であったと云う人が圧倒的に多い。当時函館の業者僅か二、三。

三井は電力会社

の内外線請負工事(その頃屋内配線は電力会社の貸付であった)はもとより、戦時中は軍の工事も受け、多くの人員を擁し全国的な規模を持つ会社であった。

田仲さんは昭和八年入社、内外線設計監督者として二十一年三月退職する迄、十三年余同社に籍を置き、現存する三井出身者としては古参の方です。

明治四十一年生れ、尻岸内村古武井の出身。昭和二十一年品沢電気創立に参加二十六年東川町にて巴電気を創業、以来

今日に至りました。其の間新川町共愛会館向い角に、事務所を置いた事もありますが、現在は七重浜駅近くの自宅に於いて営業されています。

戦時中は蘆溝橋事件勃発後間もなく、工兵として応召し、数年間各地に転戦、黄河渡河、武漢三鎮作戦等を体験している由。『思い出は数多くありますが、確かにナショーレイというところの野戰病院の救援に赴いた時、緊急の事とて、遺骨として戦死者の手足の一部を切り取って持ち帰るのが精一杯という状況の時がありました。當時を思い起すに付けても、戦死された方々は全く氣の毒な事であったと思います。兵役は其の後太平洋戦争中再度召集され、その時は北海道で過ごしたので、割合楽な状態で、復員した時の階級は軍曹でした。』

『私の若い頃は、何も解らず現場では上からノップが飛んで来たり、先輩にどうなられたりし乍らいろいろ仕込まれたものですが、今の若い人達は社会的な知識も豊富ですし、自分の将来の事も良く考

えている様で、仲々しっかりしていると思いますが、仕事の方はどんなものでしょうか?』話は何時か道楽の事に移り、事務所に連絡するより、パチンコ店に電話した方が早いと云われる程のパチンコ好き、『腕とか技術とか面倒なことは確らないが、只もう好きで通ったのです釣りもよくやりましたが、最近は仕事も忙しいので出歩くことは余りなくなりました』酒は身体に似合わず殆ど駄目で、宴会等はつき合いが悪くて困ります』

当別の修道院には専属業社として、工事に出入りして居り現在クッキー工場が建設中で、相当大きな電熱装置を入れる様です。「二十年來のつき合いで、自分の家の様なものですよ」……一念発起して二、三日前より禁煙に踏み切った田仲さんは、「今が一番つらい時です」と云い、かたわらの氷砂糖を頬ぱり乍ら懐旧談をいろいろ話してくれました。

(駒井)

「地区だより」

【今金・瀬棚の皆様】

(工藤義一)

「いなづま」の地区だよりも、回を重ねて早や第四号を編集するに当たり、今回は、南北海道の米所、セタナ線の皆さんを御紹介申し上げます。



函館より急行にて2時間、室蘭本線との分岐点、長万部駅に到着。ここよりセタナ線に乗り換えて約100分、終着セタナ駅に着くのである。6月19日、久し振りに晴れ上がった初夏の天候に恵まれて、11時25分発、急行宗谷にて、我々取材班は現地へ向いました。見事に植付された水田を右に左に眺めつつ、みどり色に包まれた山川の風景は、まさに一幅の山水画を見ている様でした。

ここセタナ線には、8名の組合員が、今金、北桧山、太櫓、セタナの四地区に分散して、活躍をされております。では、組合員の紹介といきましょう。今金町は「開拓功労者」今村藤次郎と金森石郎、両氏の頭文字を取って、今金と名付けたそうです。米、ジャガイモ、アスパラ等の農作物が、町の経済を豊かにしており、組合員は電化製品販売と、電気工事の二本立てで大いに稼ぎまくっております。組合員は、大倉有線電気株式会社 大倉伸夫氏 光生電気商会 鈴木忠氏 山田電気工業 山田貞義氏の三氏で、大倉氏は全国的に現場を持ち、大変忙しい所を御協力戴きました。鈴木忠氏は病氣療養中で、息子さんが店の切り廻しをしておられました。山田氏は、20余年のキャリアをもって陣頭指揮、午前7時過ぎには、現場へ出かけております。

北桧山町は、昭和30年4月、東セタナ町と太櫓村を合併して新町名が発足、やはり農作物が主であり、人口1万2千のなかなか活気のある町である。

ここでは、有限会社ヤマト電気工業所金本慶三氏伊藤電気商会伊藤平治氏の両氏で、ヤマト氏は、ロイドめがねに登山帽といういでたちで、迫力のある太い声で、近況を語ってくれました。伊藤氏は、電業所の委託業務も引受け、なかなか忙しそう。長男は電気工事士の修業の為、同業者へ奉公に出しているとの事です。

太櫓には、宮本電気工業所、宮本正彰氏が、委託電業所を兼ねて、一匹狼。

セタナ町には小西電気商会 小西金次郎氏 佐藤電気商会

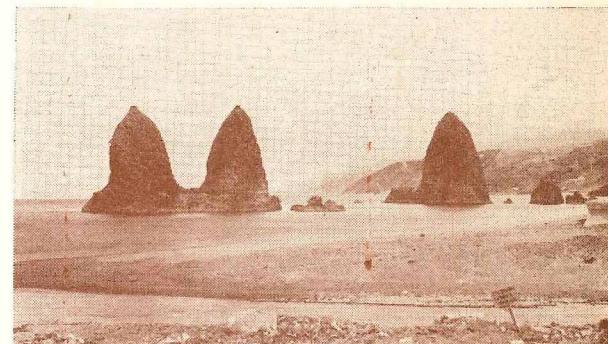
佐藤勇太郎氏が活躍をされております。セタナ町は人口約6千の港町で、海の幸が豊富、大正末期まではニシン漁場で大いにぎわった所である。特に、海中にそり立つ三本杉岩は有名で他にも景勝地が多く、最近活躍中のテレビスター、山田吾一の生家もある。小西氏は「小西ランプ」屋の、50有余年の「ノレン」を守り乍ら、手広く営業しております。佐藤氏は、今年5月独立し、我が腕の見せ所と、張切っております。

この地区的組合員は、昨年6月、大倉氏を会長とする「セタナ線第三水曜会」を結成、月に1回、幹事廻け持で会合を開いております。

この日、「満一周年記念」三水会に、我々取材班も同席し、午後5時30分、今金町、桜田旅館、大広間に開会されました。会議の取材記録より、二、三、の討議を御紹介申し上げましよう。

- ①他管内より来る、業者による値下げに対する対抗策
- ②従業員に対する退職金制度を、組合事業として、実施方を申入れ。
- ③労務対策は、将来の本人に対する裏付けがなければ人を集め事がむずかしい、これの対策をどうするか。
- ④総会、新年会等の組合行事に出席する場合の、旅費実費支給を申入れ等、約3時間の討議が続きました。

我々組合員の一地区とは言ひ乍ら、この様に団結して、色々と工事業者の足元を固めつつあるセタナ線三水会の将来は、輝



かしいものがあります。

静かに農村の夜は更けて、時折自動車の排気音を遠く聞きながら、取材班は床に着きました。午前3時半、白々と明けそめる東の空は農漁村の朝を知らせる。

各組合員の店先には、電化製品がならべられ、電工諸君は機材を積んだ車を飛して現場へ、御主人等は、早々とかかって来る電話に、満足そうに頭を下げておきました。

この地区での取材で、特に気の付いた事は、電化製品の販売と電気工事、及びあらゆる修理も引受けると言う、多角経営で農漁村の人々の手足となって、サービス的事業方法を取っている事でした。

限りある紙面では、一部分の御紹介しか出来ません。しかしせタナ線三水会は、今日も、明日も、輝かしい将来に向かって団結して足元を固めつつある事を御紹介申上げて、第四回の地方だよりを終ります。最後に、我々取材班の為に、全員で御協力下さいました事を、紙面にて厚く御礼を申上げます。

【瀬棚線の電気工事店】

大倉有線電気株式会社 大倉伸夫



国縫から分れた瀬棚線が緑の中の急斜面を登り出すと、始めての人はどんな山奥だろと想像し、その線の住民達はやれやれ漸く帰つたかとほっとします。私は昭和12年の春親父の転勤のお蔭で、貨客混合のギシギシときしむ客車の中に、不安一杯の心を押え乍ら今金に向ったのが最初でした。そして想像以上に開けたしかも電気のついている街今金に暮す事となったのです。以来30年その線路は出征兵士を送り、買出席を乗せ、米や木材を運び出し、道南一の赤字線と云われ乍ら、函館直行の急行まで走る瀬棚線に成長しました。赤字だから外す外すのかけ声は数年前から、そのかけ声をよそに今金駅等はどこかの観光地の様な立派な新駅舎が出来上り、赤字国鉄のでっかさを誇示しています。この線の中心は三本杉で名高き昔の千石場所瀬棚から、北桧山、今金の方に分散し、此の3町が何かにつけて意地張っています。

電気工事業者も農村の電化について増加し今や8軒の大世帯になりました。道南一の穀倉地帯で外から見ると割合に景気も良く（内から見れば悪い）道南のさい果の地が幸して、他からの侵略者も少く、年間5、6千万の工事量を仲良く分け合い、夫々泰平の夢をむさぼっている様だが。（但しよそから見た場合）然し実際の瀬棚線は道南一の穀倉地帯に発展した反面、若者の都市への流出でいちやんばあちやんばかり残つて行く、郡部の宿命を背負っています。

各企業共人手不足と高賃金になやまされ採算性は低く、一時華かだった鉱山や木材業界等は淘汰の段階に入っています。現在の若者達のみ力溢る場所には他の郡部同様になり得ないでしょう。現在電気屋の比較的景気の良い時（瀬棚線はここ3・4年は建設ブームだから）に8軒が集つて少しでも将来に希望を見出だしたいと小さい集いを作つて1年になります。

価格の問題、労務の問題、果ては合併論まで、お互云いたい事を云い合って、大きな進歩もないけれども、親睦以上の目的は果して来ました。赤字の瀬棚線が地元の陳情空しく将来外される様な時に、どの様なスタイルで我々の業種が残らなければならないか。これは私達瀬棚線ばかりではなく、郡部業者と共に通した課題ではないでしょうか。もう少し広く同じ気持ちの者同志の話し合いが欲しいと思います。

「私の趣味」

日興電気株式会社社長 日計文雄



運転技術を身につけ、當時大型免許証をと

る。北支、中支、と戦場を駆けめぐり、終戦時に軍隊手帳と免許証を放棄し復員す。戦後26年頃より漸くバイク・スクーターが始めた頃「ホンダ2輪250CC」に乗り、1年毎に新型に変え「ミズボ」「ジユノースクーター」「キャプトン500CC」「目黒250CC」と乗り江差方面迄も工事に飛んで走つた為、胃を悪くし1年半位車に乗らなかつたが、運転の醍醐味忘れられず「日産ダットサン」より始まり1年後には「ダットサンピックアップ」次に「トヨタライトバン」「トヨベットコロナ」等乗り現在6台目である。安全運転をモットーとして20余年間無事故である。その秘訣を日計社長に伺う。

〔奥様訪問〕

奥村電気商会 奥村夫人



御主人は車と魚釣りが道楽だそうで、日曜日になると早朝から出掛けのですが毎度未明に奥様をわざわざするのが気がひけて朝そと出発すると云うのだそうですが、「主人を車の中に寝かすなんて、夫婦喧嘩でもして私が追い出した様で近所にも恰好がつかないからそれだけはやめて下さい」と云つて居られる。相対していると眼鏡をかけて居られる故か学校の先生と話している様な知的な感じで、多少固くなっている内に話が段々とはぐれて来ました。

函館出身、元町高校卒業、昭和31年の見合結婚で前後して北電の認定を得て以来十数年、文字通り御主人の片腕として経理関係その他を忙しい家事育児と両立させてやり抜いて来られました。対税務関係及銀行関係の折衝等は勿論奥様の担当です。以前は現場で忙しい主人に代つて幼子を背に北電等の書類提出や集金等もされた様ですが、こゝ数年は妹さんが手伝つて居られるので主に「電話当番兼留守番」との事。最初のお子さんが男の双生児であとは丁度2年置きの矢張り男の子で合計4人の子福者です。現在小学校5年生が2人、3年生、1年生と育ち盛りの4人が顔を揃えると仲々美しい程ですが、幼い頃はさぞかし大変であった事だと想像出来ますが、そんな素振りはみせません。「忙しくて自分の趣味等考える余裕等ありませんでした」御尤もである。

「主人はアルコール類に弱くて会合等で少しでも飲むと深夜まで苦しがって、世話を焼けますので、止むを得ぬ場合は私が出席する様にしています」その故かどうか「近頃は甘口なら銚子一二本位は……」ビールは駄目だそうです。

自分の訪問記でもないのに、好きな魚釣りを早々に切掲げて来られて、傍から援護射撃やら取材の邪魔をしている御主人は「大して褒める事もないが、ただ決算期等で書類の作成に期限をつけられるとどんなに忙しくても寝なくても短時日の中に仕上げて了う事だけは感心する」と一発。「やるべき事をサボッていた訳ですから当然です」と平然と奥様。成程夫唱婦隨か婦唱夫隨か奥村電気商会繁榮の一因は矢張り奥様の適切なリードによるものとみたのは、日頃種々の誘惑に負けサボル事の好きな男性のヒガミか。早々に辞去する事にしました。

(吉田要)

毎月1日は神棚に御燈明、塩、水、酒、を供へて安全を祈り車を清掃し清めます。その日に依つて、車の重い日と軽い日がある。その重い日には1日の清めを再度行い、尚且つ重い日には幾日も勤かさない時もあると言いました。

車の気持、状態をよく承服してこそ長期の安全が保ち抜かれたと思いました。町内会でも表彰の対象に上げられますか、当然の事として何時も辞退している。日曜日に家族でドライブをするのが一番樂しみだと語りました。

(佐藤輝記)

「電気屋の服装について」

日本電設 木下弘二郎

私共の電気業界では時代の変遷につれ、技術の進歩が著しくついていくためには絶えず勉強しなければならないが、今ここでその服装について考えてみたい。私共の若い時代は半てん、



腹掛にバツチ姿が電気屋の制服で、外線屋は巻脚絆、地下足袋、内線屋は麻裏草履、セツタ又はダルマ靴が多かったと思う。

半てんの衿には所属会社名を入れ、背中には電力会社はいづま、国鉄は動輪、その他色々の紋があった。夏は麦藁帽、冬は毛糸のタコ帽子、後でスキー帽になったが、これが制服に統一されたとき、年配の人は腹掛のドンブ

リに工具や碍子、ノツブその他弁当箱まで入るので大変便利だといって頑固に、今までの服装を変えようとはせず、昭和の初め頃までその姿が残っていた。

現在ではこの旧式スタイルとは入れ替り、従業員は会社支給の作業服と会社ネーム入りの作業帽にヘルメット姿の一つの型ができ上り大変スマートになった。但しここですこし気になるのは少数乍ら醜悪にみえるボサボサ頭の若い人がいることだ、年輩の人が折角技術屋として社会的地位の向上を計り、一般的

◆安全パトロール◆



7月4日全道安全週間行事の一環として北電と安全協議会共催で作業現場を廻る。北電より支店長始め、営業課長、配電課長、配電係長、工事係長、厚生係長、労務係長、作業所長中里、金丸、池浦係員等と当協議会より、小寺会長、荒井組荒井、樺電垂沢、共栄鈴木、旭佐藤、が出席した。支店長より挨拶の後配電係長より今回の点検の項目の説明があり、一服装、二作業環境、三作業責任者の行動、四作業員の行動、五安全作業用具の使用等につきチェックする様との指示に従い、車四台を連ね、最初は、青柳町にて建柱車にて建柱作業中の石島電気の現場を見る。

次に大中山にて、高圧一線増架工事中の池田電気、桔梗駅前の電圧改善工事中の日本電機保全社、上湯の川低圧延長工事中の北邦電気、赤川高圧延長工事中の旭電気、各々を視察し三時半より「郁雨荘」にて反省会を開き、上記工事の講評を聞く。

- 一、安全帽は正規の絶縁帽を使用してない者がいた必ず絶縁帽を着用の事。
- 二、安全工具と使用材料とを一諸にしている。これは別々に整理する事。
- 三、道路上に工具及び材料を置かぬ事。交通や歩行者に迷惑からぬ様にする事。
- 四、服装は作業に適する様心掛ける事。
- 五、機械化に伴い安全がルーズになっているので注意する事。
- 六、作業責任者の指揮系統が正しければ作業能率が上る。

以上の様な事が今回のパトロール中に指摘された。各業者におかれても、今後暑さに向う時期でもあり、細心の注意のもとに、無事故を目標に作業を進める様願い致します。(佐藤輝)

お客さんに信用を博そうと努めているのに、この街のアンチヤンスタイルについて皆さんどうお考えになるか、本人は西部劇の伊達男の積りかも知れないが、ズリ落ちそうな腰のバンドに二丁拳銃よろしくの腰道具、頭は油気のないミリタリー刈、然もズボンの裾がオンボロワカメとくると只々滑稽という外はない。然し女は膝上20種のミニスカート、男はフーテン族がもてる時代とあれば我等老兵何をか言わんやだ。

元来フーテンスタイルは、アメリカの開拓時代の自然的姿ではなかったかと思われる。西部に金鉱を求めて、インディアンや猛獸と斗い乍ら、荒野を探し歩いたフロンチラーが何ヶ月も入浴もせず、髭も剃らず、又それを横取りしようと跡をつける悪玉それを守る保安官とそして騎兵隊、何れも同じようにやはり髭面であったであろう。

但し映画では頭の毛は皆長いが髭面は老人が悪玉で、黄色いマフラーの騎兵隊は顔も剃ってやはりキチンとしている。

現在は復古ムードで、歴史は繰り返すというから、昔の悪漢のスタイルのマネよりもむしろ日本人らしく、チヨンマゲ頭の腹掛ドンブリ姿がいいのではないか。かって少し前の職人の頭は大工さん刈が一番清潔でイキで活動的であり、これが海外で流行し、逆に戦後G.I.刈として日本に輸入され、日本全国のスポーツ学生や一般の若い人に好まれたことを考えてみたい。

お得意さんに対してもこの姿はマイナスとなると思うので、人権尊重も結構だが、経営者の、大ガサに言えば生活権にも関する事柄であるから、服装態度をキチンとし、好感をもたれる電気技術者となるよう、あえて物申す次第である。

◎交通事故防止について◎

私は毎日交通事故の記事がのっていない新聞を見たことはありません。皆さんも同様の事と思います。そこで私は、道路は産業の大きな川であると考へて歩行者は必らず川の橋を渡る様にしなければならないと思います。

橋を渡らずして事故が発生しております。必らず歩行者の区別のある處は、交通ルールを守ってもらいたいものである。交通違反、事故等は、自分で防ぎ被害者、加害者にならない様に、一度事故を起こせば社会生活から見放され廃人同様の一生涯を送らなければなりません。運転者歩行者共に交通ルールを守り交通事故の防止に再度協力致し、私の一言と致します。

一日目標

- 人命尊重の精神に徹して安全運転する一日
- 過労を防止して安全運転する一日
- スピードダウンで安全運転する一日
- 全員無事故無違反の一日

(佐々木三男)

隆東電機株式会社 <small>T函館市二三六一六四二一六四六</small>	大興電機株式会社 <small>T函館市二三一六二一六一一千六二一町一六一六</small>	品質奉仕の工事材料・電化製品 <small>T函館市五一小市一海三町一四三七社</small>	丸晃電気株式会社 <small>T函館市五一小市一海三町一四三七社</small>	新らしい住まいづくり <small>T函館市二三一川二町九五八五</small>
---	--	---	---	--

◎私の経歴◎

小西電気商会 小西金次郎



「セタナ」近在で「小西ランプ屋」の名前を知らぬ者はいない。

大正初期から50年有余の古いノレンを誇っている。此の店が、現在の小西電気商会である。

商店街の中ほどに、大きな店舗を構え近くには、テレビタレントの山田吾一の生家、山田旅館が並んでいる。

当主の小西氏は、忙しい最中にもかかわらず三本杉岩の見える旅館の一室で、50余年の思い出を語って呉れました。

明治43年4月29日、函館市で産声を上げ、新川小学校に通学した事もある。函館生れの、セタナ育ちである。大正3年ニシン漁の盛んなセタナの町え、父親に連れられて移住、当時の照明器具である、ランプの販売店で育った。商人には学問は必要ないと言う、頑固な父親の意見にしたがって、向学の志を断ち東京の小間物店に奉公した大正12年、関東大震災で一度帰郷はしたが、再び復興しつつある東京の店え戻って、年期が明けるまで、商売の勉強に励んだそうである。都会の商いの道を修得した小西氏は、父母が営んでいるセタナの町へ帰って来て、小間物やの長男として活躍を始めた。当時、道らしい道もないセタナ海岸や遠く今金の農村まで、われものの「ランプ」の手本

■将軍様になりたいか?

酒席で商売の話をすると嫌はれる。だが、お色気の話となると側に待る女性でも『いいやだワ』と言ながら『天皇様や将軍様も、その結果生れたものネ』と眼を輝かせる。皇室の偉力が地に落ちていた頃とは云え江戸時代では『公方様には及びもないが、せめて、なりたや天子様』の文句がある位将軍様の生活は憧れ的であったし、お色気の生活も語るに足るものがある。

十一代家齊に至っては42人も妾が居たし生れた子供が55人。将軍家15代のうち正夫人の子供は家光一人だけ、若干名の養子を除いては全部、妾の子である。将軍様ともなれば選挙で落ちる心配もないし、物価が騰っても食はしてくれるし『よきに取計へ』と言う政治用語、一つだけ知っていれば大奥と称する建坪六千三百余坪の男子禁制の宮殿で現在の電機メーカーがテレビを造る如く子供の大量生産に励んでいればよい。公的な庁舎公宅が四千六百余坪、大奥と併せて一万余坪これが本丸。更に前将軍の夫人、妾の住む西の丸が六千五百余坪、まだある、物の用に立ち得なくなった妾の老人ホームが二の丸。吹上御庭を含むと約30万坪が江戸城の内郭である。大奥の女中は上薦、年寄、中薦、お小姓など40種の職制があり、その数七百人を超えて西の丸、二の丸を加えると二千人近くに及ぶ。

大奥の年経費は20万両将軍家の年経費は二百万両だから割は大奥で費はれる将軍の夜の生活は大奥で始まる。姿になるのは中薦だけ。夜のサービスをする中薦は、お手付中薦又は「汚れた方」とも云う。末だ将軍のオコボレを丁戴していない中薦を「お清（おきよ）」と言う。勿論「汚れた方」が偉い。彼女等は汚れようとして、あらゆる努力をする。この点現代の女性と似ている。妊娠でもしようものなら権力が凄い。北電の支店はおろか社長でも簡単に面会出来ない程に格上げされる。然し困ったことに中薦の夜の奉仕は将軍様と二人きり、と言うわけにはいかない。12畳の部屋の中央の床に将軍に向って右側にふす。少し離れた左側にもう一つの床を敷き「お清」の中薦が一人背を向けてやすむ。隣り座敷に年寄が、きき耳を立てながらうつらうつらしている。翌朝「お清」は年寄に昨夜の「汚れた方」と将軍様とのお伽の模様を微に入り細に亘って報告しなければならない。一体「お清」はどんな気持で床にふしているだろうか。針の糸よりもつらいであろう。この人権ジシリソムも甚しい習慣は中薦が政治むきの「おねだり」や「つけ口」を将軍にするのを防ぐ為である。例えば「パパ、弘電社が無断送電したんだけど許してやってネ」「ウン、ヨンヨンシ」てな事になったら大変だからだ

妾は中薦しかなれないが将軍様の目に止ったら直ちに中薦に格上げする。諸君睡をたらすでない。お戯れの回数まで監視されている将軍様のプライバシーはどこにあるだろうか。それでも諸君は将軍様になりたいか？更に中薦は30才過ぎると「おしとね御断り」又は「おしとねすべり」と言ってお相手が出来なくなる。

女性は30歳になると御世継ぎが生れなくなるとされていたからである。江戸の庶民では「30後家は立たず」と言はれているのに、バイオリンは30年使はれて後、始めて「たえ」なる音をかなでることを知らない将軍様。それでも諸君は将軍様になりたいか？秘にされていた大奥の将軍の生活を当時の庶民が知ったら「公方様には及びもないが……」の言葉は、少しばかりの浮氣をして女房にドヤされている八さん熊さんにとって平民でよかったよ」の言葉に変っていたらどうろ。

ヤ」を天びん棒で荷なって岩亦岩を飛び渡り、草深い山道を踏み分けて、商いをして歩いた父親の面影が今だに忘れられない留守宅の母と二人で、小間物やの店を守りながら、暇を見ては電気の勉強を始めたのです。此の頃、ニシン漁夫が多勢飯場住いをしていましたが、カフエーや、遊廓の女達が、値段の高い人形などを男客に買はせて、翌日、その人形を半分値段で引取らせ現金に変える女達の姿を見て以来、女には絶対気をゆるした事がないそうです。

昭和12年父を亡して、当主となった小西氏は、船舶の電気工事を始めた。戦争が激しくなって来た、昭和17年、企業統制にあり、やむなく樺太へ転出貯金が一万円になつたら国え帰るつもりでいた矢先召集を受けてしまった。昭和20年3月母の死亡を機会に帰國、終戦直後のきびしい生活をつづけながら、父が残していた小西ランプ屋のノレンをかける為、日夜努力をした。昭和22年、念願のセタナ町で、夢にまで見たノレンをかける日が来たのである。時代は変り、ランプは電灯に、ラジオからテレビ、クーラーと、電気がもたらした文化生活は、近代住民の生活を明るくする、小西ランプ屋には、変りがないのである。明治の人らしく、父が商売に使った天びん棒は、今小西家の宝として、床の間に飾られている。

古い天びん棒とノレンに恥じる事だけはしない様にと、奥さん、一男一女とともに家業に励んでいる。

若い頃は、ハーモニカバンドを結成した程の音楽愛好家。少量の酒をたしなみながら、音楽を聞くのが最高の楽しみと言う。日焼けした50余年の年輪を刻みこんだ顔を輝やかせながら、思い出話はまだまだつきないのでした。

(工藤義一)

慶弔

○(北) 弘電舎股猪貫一氏母堂千代氏
3月七十五才の高令にて逝去されました。

○港町山本電気商会山本昭二氏実父山本謙次郎氏病氣のため6月他界されました。

●編集後記●

第四号『今金、瀬棚』特集号をお届け致します。

今回は趣向を変えて工藤、佐藤、横田、私と四人で今金瀬棚を訪問致しました。常々道南の桃源郷と思っておりましたが今更にその感を深く致しました。当地的皆様が忙しい中を我々編集員のため取材に御協力を戴き深く感謝致します。又々種々面白いお話、情景を見聞致し編集者冥利につきる思いでした。或る所では先代からの遺志をつぎ隆盛の御様子（小西電気）（光生電気）或る所では、お元気な母上がり種々と息子さんの身を案じておられる様子（大倉電気）、或る所では、自分が老令で協力者が欲しいが長男が一人前の電気屋になるまで外に出して修業させ現在自分が奮斗している様子（伊藤電気）或る所では、美しい娘さんが、今年学校を卒業し、父娘水入らずで事務をとっている光景（ヤマト電気）を見るにつけ、ほのぼのと我々電気工業者仲間の内面の美しさを見た思いでした。

取材後皆んなで太櫓の海岸に入り「あわび」や「うに」を取って食べたがあの味も一生忘れられないでしょう。然しながら工藤氏は二十数年前当地で仕事を致した関係上、「あわび」取りより昔の初恋の人でも探しに行行ったのか、雲隠れ致しております。

(荒井)

(猪股)